

### 三井住友海上銚子支社

## 銚子市教育委員会の取組みに参画

# 地域中学生の職場体験を受入れ

三井住友海上千葉支店銚子支社は8月6日、同支社および銚子保険金お支払センターで地域中学生の職場体験の受け入れを行った。銚子市教育委員会(学校教育課)が毎年実施している中学生職場体験学習に三井住友海上が受入企業として参加したもので、当日は銚子市立銚子中学校の2年生3人(女子2人・男子1人)が参加。同支社で損害保険の仕組みなどについて説明を受けたほか、地域の保険代理店のオールホケン(株)と(株)保険のフロンテアの2社を訪問して地域交通安全に関して意見交換を行った。また、銚子保険金お支払センターでは事故例や判例の見方などを学んだ。



オールホケンでは小林社長と意見交換



保険のフロンテアでは自転車のヘルメット着用の普及について検討

当日はまず、参加中学生が銚子支社に出社し、職場のメンバーに自己紹介・あいさつを行った。社内で「保険会社」と「保険代理店」の違いなどの説明を受けた後、実際に地域の保険代理店「オールホケン」を訪問

## 銚子中学校2年生3人が保険業務学ぶ

し、同社の小林友明社長と地域交通安全について

Sをどう利用するべきかなどを話し合い、中学生

ならではの視点も生かしながら意見を出し合っ



職場のメンバーに自己紹介・あいさつをする中学生たち



自動車速度を算出する事例に挑戦

自転車のヘルメットの着用率を上げる取り組みについて参加者全員で意見を出し合った。午後、銚子保険金お支払センターで、保険がどのように使われているかを学んだ。中学生たちは事故例や判例の見方などを学び、実際に自動車の速度を算出する例題では、数学の授業が役に立つ場面もあった。

今回の取り組みについて、三井住友海上千葉支店の町田雄一銚子支社長は、「損害保険会社は一般的な来店や接客を伴う仕事ではないので、大人でも仕事のイメージがわきにくい業種だと思う。そんな中参加した3人の中学生は、積極的に意見を出したり、課題に挑戦したりして、1日過ごしていた。中学生ならではの斬新な発想・アイデアの意見は私たちが勉強になり、地域安全活動に役立てていきたいと思う。今回の体験を通して損害保険会社の仕事を少しでも理解していただき、将来職業を考える時に『保険』の分野が候補に挙がるようになればうれしい」とコメント。

参加した中学生は、「保険会社はCMを見るときによく知らなかったが、1日体験を通じて保険会社がどんなことをしているかを知り、関心を持つことができた」「午後の保険金支払いの学習は難しかったが、分厚い本を読んだり見たりするのは楽しかった。保険のことをもっと知り、将来はこういう仕事につきたいと思った」「保険会社と代理店の違いを知ることができた。交通安全について大人が一生懸命考えていることがわかり、自転車のヘルメットや横断歩道で停車することなどは、家族でも話したい」と感想を語った。

協力企業のオールホケンの小林社長は、「保険という初めて聞くことばかりの中で、真剣に話を聞き、質問に対して自分の言葉で返答してくれた、とても前向きな姿勢が印象的だった。皆さまから頂いたアイデアを取

り入れ、より伝わりやすい交通安全の案内を行ってきたい。今回の経験で、将来の進路や社会への関心を広げるきっかけになれば幸いだ。皆さまのこれからの成長を心より応援している」、保険のフロンテアの齋藤社長は、「地域の安心・安全について中学生からの柔軟かつ新しい発想で意見をもらい、いい企画を考